

大気汚染問題の経緯と課題

2011.5.29

弁護士 西村隆雄

1

自己紹介

四日市 ... 川崎 ... 東京

2

裁判と科学

発病の因果関係をめぐって

前田和甫東大教授

裁判での証言と『沿道汚染』

嵯峨井証言と大気裁判

3

東京大気裁判

概要

東京都全域の面的汚染

道路管理者（国，都，首都高会社）と自動車メーカーを被告

損害賠償と差止め請求

判決（2002.10.29）

沿道原告のみ勝訴（4万台，50メートル）

自動車メーカー・面的汚染では敗訴

判決日行動で「確認書」獲得

和解（2007.8.8）

東京都医療費救済制度創設

PM_{2.5}環境基準の検討

道路公害対策の実施

4

PM_{2.5}環境基準

PM_{2.5}とは

PM_{2.5}の健康影響

基準設定までの取組み

国際シンポジウム開催

意見書提出・環境省交渉

パブリックコメント集中

米国基準並みの環境基準設定 (2009.9.9)

今後の取組み

5 東京都医療費救済制度

概要

全都ぜん息患者の医療費自己負担分助成

財源は汚染者負担

「5年後」見直し

成果

認定患者 58,000 人

アンケート結果

臨床の現場でも

6 国での新たな救済制度を求めて

求める制度内容

① 医療費救済と ② 障害補償

cf. 公健法

汚染者負担の原則 (国 , 自治体 , 自動車・燃料メーカー)

ぜん息・慢性気管支炎・肺気腫

国に5連勝の大气裁判

東京都議会意見書

横浜でも運動スタート

サーベイランス調査 SORA プロジェクト

50万署名